



善正寺だより

掲示板法話

お念仏申す時

バラバラが一緒になれる

今年も八月のお盆を迎える候となりました。親を亡くされた方、長年連れ添ったお連れ合いに先立たれた方、若い子や孫を亡くされた方もあるでしょう。

私も齢七十路になり、旧友や親せき筋で病の床に臥せる友や連れ合いを亡くしたとか、生命維持装置なしで外出もままならぬ人の消息などを聞きます。できるだけお見舞いの便りをし、声の便りをします。そんな時、「またお会いしましょうね」と言います。ふと、「また会える世界」とは有縁、無縁の境涯を超える我々共通の願ひではないだろうか、と気づかされました。

「また会える世界」とは『仏説阿彌陀經』で説かれる、「俱会一処」の世界。共に一つの所(浄土のこと)に遇えるよう願われている世界です。死別は最も辛い出来事ですが、毎日同じ家で生活している家族でも、本当に心から一つの所に生きているかと言えば、そうとは限りません。仕事のこと、精いっぱいのご主人、家計のやりくり、子供の問題が心配で愚痴の虜になっ

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
☎:059-331-1670
☎:059-332-0733



ている奥さん。学校の部活動で明け暮れ、親のことなどお構いなしの子供さんなど、時にはバラバラということも少なくありません。ほんとはバラバラでありたくないにもかかわらず、自己中心の世界に陥って他を苦しめ、自らも苦しんでいるのです。この悲しみから救い出さずにおれぬと願ひがかけられています。

祖父の納骨に渋々同行した娘さんが、それまでのかたくなで反抗的な態度を翻して謝罪、わがまま放題の放逸な生活を止めてくれた、という話を聞きました。「これも仏さまとなった亡きおじいちゃんのお蔭です」と母親が言われました。大谷本廟という聖なる宗教的雰囲気に触れたことが転機となったのかもしれない。だが、気づくことが気づくまいが、かねてより親子ともども抱きとられ、願ひの中に生かされてあったのです。納骨参拝がご縁となつて、おじいちゃんを偲びながらお念仏された娘さんの心が慈悲の願ひに揺り動かされたのです。かたくなに心を閉ざして聞く耳を持たな

った娘さんの中に、「念仏申さんと思ひ立つ心」が起り、仏様の心が流れ込んでは、「氷が溶けて一味の水になる」がごとく、親子が本音で向き合えるようになったのでしょうか。

まさに、お念仏申す中にお浄土が迫り来て、「バラバラが、心開かれ一緒になれる」世界が開けたのです。亡きご先祖さま方は命をかけてお念仏の世界にお導き頂いていたのですね。どうぞ、お盆には老いも若きも共に墓前に、仏前に坐してお念仏申しましょう。煩惱の雲のまにまに慚愧と感謝の世界が差し込んでくることでしょう。

写真アラカルト



☆行事ご案内☆

◆秋季永代経

8月20日(土) 午後1時半、夜は無し

21日(日) 午後1時半

講師 加藤正人先生(桑名)



※お経開きは20日(土) 午前10時半

◆盂蘭盆会(うらぼんえ)法要(新)

8月14日午前8時半より(住職、正信偈と法話)

地元の方、納骨堂利用の方等、誰でもご自由にお参り下さい。

◇絵手紙教室 9月13日(火)午前10時 8月は休み、13回目

◇キッズサンガ 8/6(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休

◇三重組コーラス 8/10(水)午後1時より 西勝寺様

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。
毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設丸8年で
21万2千訪問、一日約90訪問、悩み相談、大歓迎！即返信

◇一縁会テレホン法話：059・354・1454お電話を！

◇新納骨堂：後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

坊守スケッチ

つぎあい



長年中元・歳暮をやりとりしていた方から「今回限りで『つぎあい』にしましょう」と言われた。高齢になり外出も不自由になって儀礼は極力簡素化したいという言い分だ。でも私としては一抹の寂しさを感じる。年賀状以外、年に2回、電話やハガキで「ご無沙汰を詫び、近況報告やお礼の気持ち」を伝える。モノのやりとりは、そのためのいわば手段に過ぎなかった。「つぎあい」を漢字に置き換えたなら何と書くのか調べた。「継ぎ合い」や「注ぎ合い」が当たる。前者は家業や志を継ぐこと。後者はお酒を酌み交わす意味。下戸の私には酒の注ぎ合いはいささか迷惑。しかし『継ぎ合い』と『注ぎ合い』、いずれも人間関係を円滑に進めるためには有効な手段に変わりない。だが近年、それが葬儀や法事の場合で、『ご縁を切る』という否定的な意味で使われることが多い。

「お互いいつまでも昔からの付き合いを続けていると、子供達に迷惑がかかる。この際つぎあいにしましょう」「相手からそう言われいささかショックです。でも考えようではさっぱりしていいかも？嬉しいような悲しいような、寂しいような複雑な心境です」という声を聞く。確かに高齢者の一人暮らしが多くなって、昔からのご縁を継続することは難しくなった。遠くに住む子供世帯に金銭的な負担や時間

的余裕などない。大家族時代ならばいざ知らず、現在は若い世代に引き継ぐことは不可能かもしれない。

一方若い世代はライン等のSNSで不特定多数の人間と瞬時に繋がることのできる。便利な時代だが、どれだけ確かな『絆』を築いただろうか？自分の都合がいい時だけは繋がりが、一旦悪くなればすぐにリセット。何と空しく寂しい人間関係ではないか？

私達はご縁を大事にする本来の『継ぎ合い』の精神を忘れずに、困った時の支えになり、次世代の人々にその心をつかり繋いでいきたいと思う。

お知らせ

平成28年度門信徒会費のご依頼に、住職・総代さん、行事さんらが手分けして次の日程で巡回します。ご協力よろしく願います。訪問予定のハガキを出しますが、ご都合の悪い方はあらかじめ寺までご連絡下さい。

※8月3・4日夕方四日市市街・菟野

※8月7日午前近隣住宅地(総代)

※8月上旬 盆迄小杉・坂部(行事)

◇6月24日名古屋で開催された中部・北陸仏婦大会。善正寺からは7名が参加。問題提起の寸劇が好評。制作・演出されたご住職様がDVDをご恵贈下さいました。7月17日夜の門信徒会で上映し、「まさかの時の覚悟」を一緒に考えたいと思います。

☆若院夫婦の『育自な毎日』その21

6月の初め、中央仏教学院のスクーリングを受講するため泊まりがけで京都に行ってきました。昨年は長女の出産間もないために欠席したので、私はいわゆる留年生。また、一昨年は門徒の女性方と会場まで一緒にでき心強かったのですが、今年は一入ぼっち。しかし、一昨年の早朝、出発する私を泣いて引き止めようとした長男が今年はずいぶん成長してくるではありませんか！長男の成長ぶりに勇気ももらい、私は京都へ出発したのでした。会場に着いた私を驚かせたのは、一昨年のスクーリングで知り合い、宿泊の部屋も一緒に住んだ名古屋の女性Hさんにまたお会い出来たこと！Hさんは私よりもずっと歳上ですが、「こちにおいでおいで」と気さくに手招きして下さいました。お互いに不思議なご縁を感じる再会でした。

私の留守中、子守りのため私の実家の両親も駆けつけてくれたのですが、その様子はまた来月号に書きたいと思っています。(若坊守)



敬用

★服部賢様(85・小杉) 6月28日往生の素懐を遂げられました。合掌

ホットニュース

◇新企画『孟蘭盆会(うらぼんえ)法要』を、8月14日(日)朝8時半よりお勤めします。地元の方、新納骨堂ご利用の方、有縁の方々等、ご自由にお参り下さいませ。本堂で正信偈、住職法話などがあります。

◇来年3月13日『三重組十三日講』が善正寺で勤まります。次回開催寺として7月3日西光寺様へ法物の受け渡しに住職と総代様2名で参りました。来年3月まで本堂南余間に大切に安置されます。十三日講は今から420年程前、大阪石山本願寺が織田信長に攻められ、10年以上に渡って抵抗(石山戦争)。その時の殉難者を追悼する法要が始まりと言われています。ご先祖がいのちをかけて守り伝えた浄土真宗のみ教えを、私達もしっかり守り伝えていきましょう。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二七二号をお届けします。◇世界で無差別テロが相次ぎ、英国のEU離脱など、内向きの思想、考え方が強まっている。◇だが、憎しみと憎悪の連鎖は何も生まない。我が命、力の限界を思えば「何のためにこの世に生まれてきたのか？」を問わずにおれない。◇お盆の季節は亡き人を偲びつつ人生の意味を問う機会です。

連日の猛暑続き、如何お過ごしですか？暑ければ寒い方がいいと言ひ、寒ければ暑い方が好きだという人間の身勝手さ、夏も冬も生物の生育には必要不可欠です。そう考えると、私の喜びも悲しみも、悩みや苦しきも、私を一人前に育てるためには全て必要な巡り合わせだったかも知れません。世界中のあちこちでテロが勃発し、罪なき人々の生命が一瞬のうちに奪われてしまいます。被害者の遺族ならば、犯人を憎んでも憎み切れない、復讐言をしてやりたい衝動にかられます。イタリヤ出身の姓婦さんの遺族は、「私達の苦難と彼女の死が、より公正で友愛に満ちた世界の構築に役立つことを願う」（産経）と、バンクラディッシュの犯人に言いました。報復の連鎖よりも、互い心中で互いに許し合い、違いを認め合い、世界平和を願う尊い志だと思ひます。犯人達は高学歴の裕福な家庭の出身、オウム事件の犯人も頭でっかちで自己中心的、短絡的考えの若者でした。何不自由なく育てられた故の精神的脆さを露呈しました。子供達に「カネ、カネ」「勉強、勉強」と追いつ立てるよりも、相手を思いやる心を育てましょう。それには私達大人が何事も「おかげさま」と感謝する習慣が大切で、ところで8月はお金の季節、仏前に座りてまきご先祖からかけられた願いを、自分自身に問うてみましょう。8月20日21日は「永代経」、暑い中ですがお誘ひ合せてお参り下さいませ、合掌

平成28年 8月

善正寺坊守様